

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英会話 3	
科目基礎情報							
科目番号	104711			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気情報工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	Passport to Work [A. Buckingham & N. Whitney 著, Oxford University Press]						
担当教員	福光 優一郎						
到達目標							
1. 英語コミュニケーションに必要な語彙・慣用表現を身につけ、それを使用できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	テキストで学んだ語彙・表現を活用して英語でコミュニケーションを取ることができる。			テキストで学んだ語彙・表現を場面に応じて使うことができる。		テキストで学んだ語彙・表現を場面に応じて使うことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
コミュニケーション能力 (E)							
教育方法等							
概要	仕事上でのさまざまな状況、電話、会議、問い合わせや問題解決、海外旅行手配、海外からの顧客や仕事仲間との交流などの場面で使用される表現を、ロールプレイや課題を通してしっかりと身につけることを目指す。						
授業の進め方・方法	ロールプレイやアクティビティを中心として実際に「英語を話す・聞く」のトレーニングを行う。課題や小テストを随時実施し、学習した表現の定着を図る。						
注意点	授業前にはテキスト (CD) で当該学習箇所の表現・音声を確認すること。意味や発音の分からない単語は辞書で事前にチェックすること。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。 本科目は履修要覧(p.9)に記載する「④選択科目」である。							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction			1	
		2週	I'm in the computer business			1	
		3週	No, he's the boss!			1	
		4週	This is where we have lunch			1	
		5週	Can I use your phone?			1	
		6週	How about some coffee?			1	
		7週	Can you meet me at the airport?			1	
		8週	I'll take care of it			1	
	2ndQ	9週	What are the sales figures?			1	
		10週	Do you have an e-mail address?			1	
		11週	I'd like to work overseas			1	
		12週	What's your job like?			1	
		13週	Would you like me to fax you the details?			1	
		14週	What's the budget for the website?			1	
		15週	I'll meet you at the north exit			1	
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力向上のための学習	英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	

				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

評価割合			
	試験	課題	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100